

荣研化学株式会社

Sustainable Finance Framework

2024 年 9 月



EIKEN CHEMICAL CO., LTD.

栄研化学株式会社・サステナビリティファイナンス・フレームワーク

2024 年 9 月

1. はじめに

栄研化学株式会社（以下、「当社」）は、以下の通り、2021 年 9 月にサステナビリティファイナンス・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）を策定し、この度「2. サステナビリティファイナンス・フレームワーク」の一部を更新しました。本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）が定める「グリーンボンド原則（GBP）2021」「ソーシャルボンド原則（SBP）2023」「サステナビリティボンド・ガイドライン（SBG）2021」、国際ローン市場協会（LMA）、アジア太平洋ローン市場協会（APLMA）、ローンシンジケーション & トレーディング協会（LSTA）が定める「グリーンローン原則（GLP）2023」、「ソーシャルローン原則（SLP）2023」、環境省が定める「グリーンボンドガイドライン（2022 年版）」「グリーンローンガイドライン（2022 年版）」、金融庁が定める「ソーシャルボンドガイドライン（2021 年版）」に基づき策定しており、適合性に対する外部評価（セカンドオピニオン）を株式会社日本格付研究所より取得しております。

1.1 栄研化学株式会社について

当社グループは、当社と連結子会社 2 社により構成されており、検査薬の製造販売を主な事業として行っています。1939 年の創業以来、臨床検査薬のパイオニアとして、先進の医療ニーズに応えられる製品・技術の研究開発に努め、信頼される優れた製品・サービスを提供しています。

1.2 当社グループの経営方針

当社グループは、ヘルスケアを通じて人々の健康を守ることを経営理念として、持続可能な社会のために、社員一人ひとりが、社会モラルやルールを守って活動し、世界中の人々の健康寿命を延伸する **Saving Your Health** に貢献すべく邁進しています。

経営の基本として、「経営理念」、「経営ビジョン」、「モットー」を中心に **EIKEN WAY** を策定し、ステークホルダーに対する責任を定めています。また 2022 年 4 月には、事業を取り巻く環境変化に対応するとともに、サステナビリティ経営の視点を取り込むため、それまでの経営構想“**EIKEN ROAD MAP 2019**”を見直し、2030 年の当社グループの目指す姿を定めた「**EIKEN Vision 2030**」、「**EIKEN ROAD MAP 2030**」及び中期経営計画（2023 年 3 月期～2025 年 3 月期）を策定しました¹。その中では、2030 年の当社グループが目指す姿に向かっていくためのスローガンとして、「**Beyond the Field ～ Team × Challenge**

¹ 「EIKEN ROAD MAP 2030 新中期経営計画 2023 年 3 月期 - 2025 年 3 月期」 [00.pdf \(eir-parts.net\)](https://www.eir-parts.net/00.pdf)

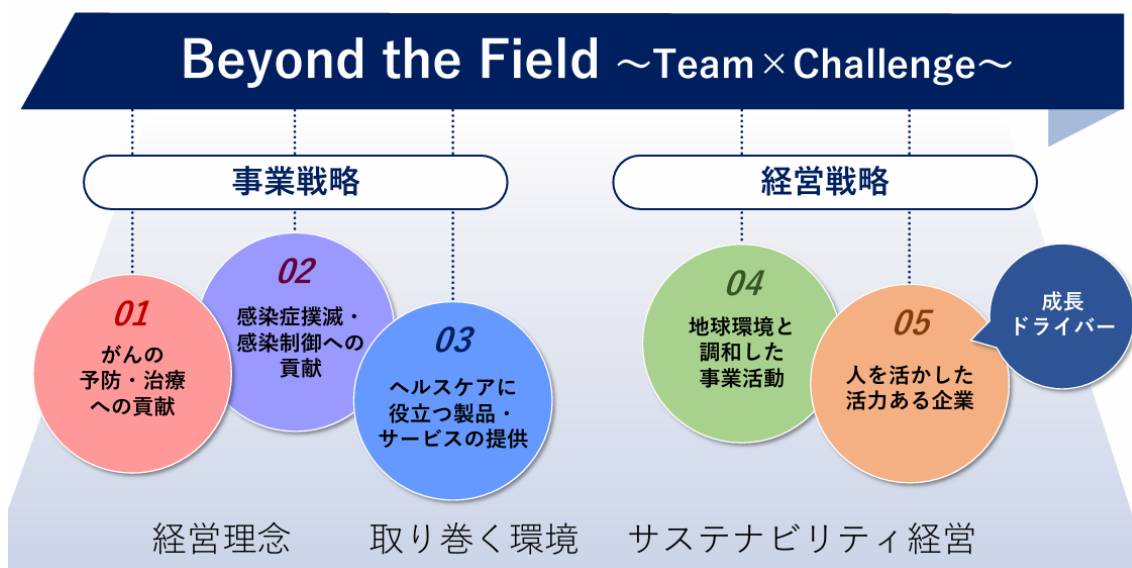
～」を掲げ、従業員一人ひとりがそれぞれの能力を高め自らが活躍できる領域を広げていくこと、その高めた個の力を、領域を超えて結集しチームでチャレンジすることで新しい可能性を生み出すこと、そして現在の事業領域から一歩踏み出し、医療のプロセスにイノベーションを起こし、検査の未来を創っていくことを目指してまいります。

- 経営理念：ヘルスケアを通じて人々の健康を守ります。
- 経営ビジョン：EIKEN グループは、人々の健康を守るために、検査のパイオニアとしてお客様に信頼される製品・サービスを提供し、企業価値の向上を図ります。
- モットー：品質で信頼され、技術で発展する“EIKEN”

<EIKEN WAY>の概念



＜EIKEN Vision 2030 –2030年の栄研グループの目指す姿–＞について

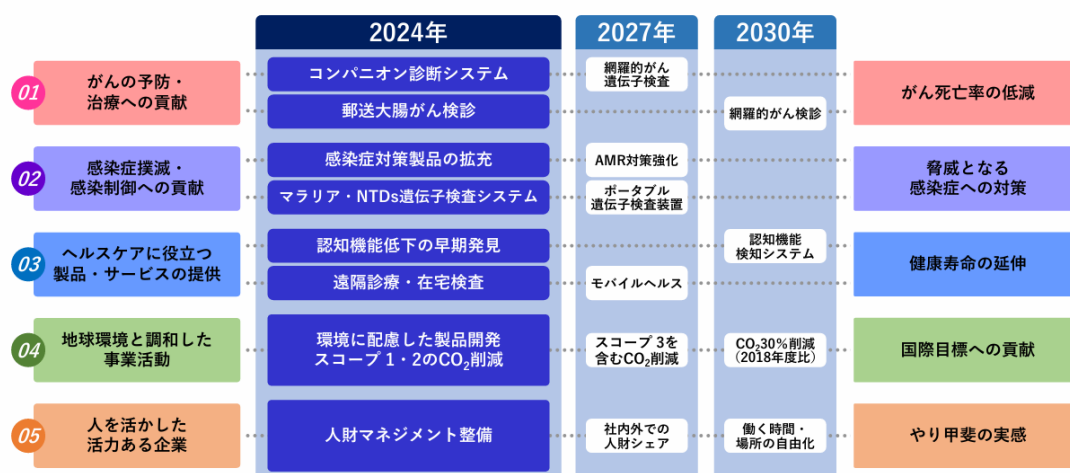


＜EIKEN ROAD MAP 2030＞の全体像

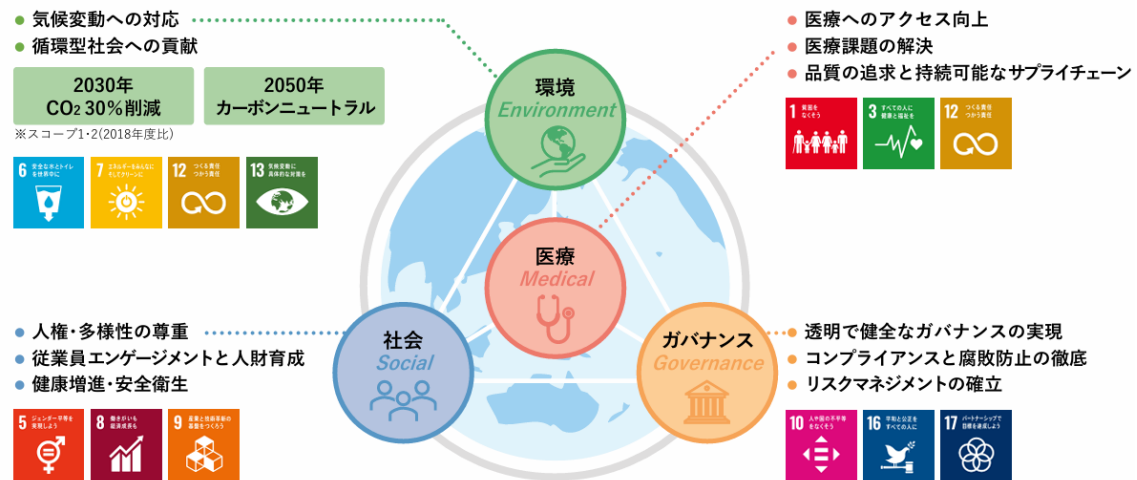
「EIKEN ROAD MAP 2030」では、現在の事業領域を中核事業としつつ、注力事業分野として「がんの予防・治療への貢献」、「感染症撲滅・感染制御への貢献」、「ヘルスケアに役立つ製品・サービスの提供」の3つを設定しています。

また、当社グループは、持続可能な社会の実現に向けて、優先的に取り組むべき11のマテリアリティ（重要課題）を特定し、具体的な行動計画に展開しました。社会課題の解決を通じて、さらなる企業価値の向上と持続可能な社会の実現につなげてまいります。

(EIKEN ROAD MAP 2030)



(マテリアリティ (重要課題)) ※



(マテリアリティに基づく行動計画) ※

マテリアリティ	主な方策	2030年目標
医療	- 医療へのアクセス向上 - 医療課題の解決 - 品質の追求と持続可能なサプライチェーン	- グローバルでの医療課題の解決 - サプライチェーンマネジメントの強化 - 大腸がんスクリーニング検査の展開国数57か国 - CSR調達の調査実施率 100%
環境	- 気候変動への対応 - 循環型社会への貢献	- CO₂排出量削減(スコープ1・2) - 廃棄物の削減 - 包装資材の削減・再生可能資材の利用 - 排出量30%減 ※2018年度比 - 処分量15%減 ※2018年度比 2022年度目標設定
社会	- 人権・多様性の尊重 - 従業員エンゲージメントと人財育成 - 健康増進・安全衛生	- ダイバーシティ&インクルージョンの推進 - 働きがいのある職場づくりとワークライフバランスの実現 - 女性管理職比率 30% - 年次有給休暇取得率 100% - 育児休業取得率 100%
ガバナンス	- 透明で健全なガバナンスの実現 - コンプライアンスと腐敗防止の徹底 - リスクマネジメントの確立	- コンプライアンス・プログラムに基づく研修とモニタリング - 腐敗防止の徹底 - 研修受講率 100% - 取引先への腐敗防止デューデリジェンス実施率100%

※なお、上記「気候変動への対応」に関する KPI について 2024 年に更新を行っています (Scope1+2 : CO₂ 排出量 30%削減 (2018 年比) を 56%削減 (2021 年比) に上方修正)

<中期経営計画 (2023 年 3 月期~2025 年 3 月期) >

「EIKEN ROAD MAP 2030」における最初の中期経営計画であり、3 カ年の成長戦略です。EIKEN Vision 2030 に向かって注力分野と重点施策を設定し、加速する医療のパラダイムシフトに応じていきます。



1.3 当社グループの環境に対する取り組み

【環境方針】

当社グループは、臨床検査事業及び食品・環境検査事業を事業ドメインとし、検査のパイオニアとしてお客様に信頼される製品・サービスを提供する企業として、地球環境保全は、企業経営の重要課題のひとつとして位置づけ、環境問題に積極的に取り組んでいます。

1. 製品の研究・開発から原材料調達、製造、流通、販売、使用、廃棄に至る事業活動において「省エネルギー」、「省資源・廃棄物の削減・リサイクル」、「環境配慮型の製品の提供」を通じた環境負荷の低減に取り組みます。
2. 当社グループが適用を受ける環境関連法規制・条例・地域協定等を明確にし、遵守するとともに、必要に応じて自主基準を定め、一層環境保全に努めます。
3. 環境マネジメントシステムを運用し、環境目的・目標を設定してその実現を図り、定期的な見直しを行いながら、環境負荷の継続的な改善を図ります。
4. 環境への影響を評価し、継続的なリスク低減活動により、プラスチックによる海洋汚染、廃棄物排出抑制を含む「汚染の予防」、エネルギー・水・並びにその他の資源のサステナブルな活用を含む「持続可能な資源の利用」、脱炭素社会への移行を踏まえた「気候変動の緩和及び気候変動への適応」、並びに近い将来における「生物多様性及び生態系の回復」に努めるとともに、万一、環境問題が生じた場合には、環境負荷を最小化するよう適切な措置を講じます。
5. 従業員一人ひとりが環境に高い意識を持ちながら業務を遂行できるよう、環境保全に関する情報提供と教育・訓練を計画的かつ継続的に実施します。
6. 環境への取り組みを適切に情報開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。

【環境目標】

当社グループは、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、2030年度までの温室効果ガス排出量（スコープ1+2）を2030年度に56%削減（2021年度比）する目標を設定しています。また、スコープ3は2020年度より算定しており、2030年度に25%削減（2022年度比）する目標を設定しています。これらの目標については、国際的なイニシアチブであるSBTi（Science Based Targets initiative）²より、「地球の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準を抑え、また1.5℃に抑えることを目指す」というパリ協定の求める水準と適合した科学的な根拠に基づいた目標としてSBT認定を取得しています。



【今回 SBT 認定された GHG 排出量削減目標（2030 年度目標）】

- ・スコープ1+2 GHG 排出量（絶対量）を56%削減（2021年度比）旧：30%削減（2018年度比）
- ・スコープ3 GHG 排出量（絶対量）を25%削減（2022年度比）

1.4 当社グループの社会課題に対する取り組み

1939年の創立以来、感染症に対する細菌検査用試薬（培地）の開発を通じて、我が国の貿易と公衆衛生に貢献してまいりました。国内の医療現場におきましては、高齢化社会における医療・介護ニーズの多様化等を背景に、地域包括ケアシステムが推進されていくことが予想されております。また、海外においては、先進国における医療費抑制のための効率化ニーズや予防医学の拡大、新興国における人口の増加と経済発展に伴う医療インフラの整備等が求められており、その中で臨床検査の果たすべき役割は重要度を増しています。当社グループは、2030年にあるべき姿を実現することにより、世界的な臨床検査薬企業として人々の健康を守り続けることを目指してまいります。

世界中の人々の健康で豊かな生活への貢献のため、医療に関しては主に下記の点に取り組んでいます。

● 医療へのアクセス向上³

世界には、医療環境や医療制度、公衆衛生や教育、所得格差等のさまざまな社会的要因

² CDP、UNGC（国連グローバル・コンパクト）、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）により2015年に設立された国際的な気候変動イニシアチブ。世界の平均気温の上昇をパリ協定が求める水準に抑えるため、企業に対して科学的な根拠に基づいた削減目標を設定することを推進している

³ 医療へのアクセス向上 [医療へのアクセス向上](#) | [医療](#) | [サステナビリティ](#) | [栄研化学 \(eiken.co.jp\)](#)

により十分な医療を受けられない国・地域が存在します。特に感染症の蔓延に伴う人的・経済的損失は、深刻な社会課題になっています。医薬品アクセスを改善し、こうした感染症に対して効果的な対策をとることは、長期的な視点に立てば各国の貧困撲滅や経済成長にもつながります。当社グループは、「医療アクセスポリシー」を定め、世界の人々の生命・健康を守るために、医療アクセス向上への取り組みを進めます。

- 医療課題の解決⁴

医療の発展により治る病気が増え、世界中で長寿化が進む現代。いつまでも健康に過ごすため、予防医学や早期診断の重要性がますます高まり、その普及を通じた「医療課題の解決」が当社グループにとって重要な課題です。当社グループは、臨床検査薬のパイオニアとして、先進の医療ニーズに応えられる製品・技術の開発、及びその普及を通じて、医療の発展と人々の健やかな暮らしの実現に貢献すると共に、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指します。

- 品質の追求と持続可能なサプライチェーン⁵

当社グループは、品質方針に基づき、品質マネジメントシステムを運用し、研究・開発、製造、販売、製造販売後のフォローまで、関係法令、公的なガイドライン、社内規程を遵守して品質、有効性、安全性を確保した製品・サービスを安定的に提供します。製品に不具合、欠陥があったときは、速やかに対策を講じます。また、サプライチェーン・サステナビリティ方針に基づき、サプライチェーンを構成するパートナー企業と責任ある調達を行い、各々が社会的責任を果たしていけるよう努めます。

2. サステナビリティファイナンス・フレームワーク

当社グループが目指す持続可能な社会、かつ環境問題への取り組みのための資金調達を行うことを目的として、以下の4つの柱について定めたサステナビリティファイナンス・フレームワークを策定します。

1. 調達資金の使途
2. プロジェクトの評価と選定のプロセス
3. 調達資金の管理
4. レポーティング

本フレームワークに基づき、以下の債券・ローンによる調達ができるものとします

グリーンファイナンス：グリーン適格要件のみを満たす適格事業のみに関連する支出または投資の新規ファイナンスまたはリファイナンスに充当される債券・ローン

ソーシャルファイナンス：ソーシャル適格要件のみを満たす適格事業のみに関連する支出または投資の新規ファイナンスまたはリファイナンスに充当される債券・ローン

⁴ 医療課題の解決 | 医療課題の解決 | 医療 | サステナビリティ | 栄研化学 (eiken.co.jp)

⁵ 品質の追求と持続可能なサプライチェーン | 品質の追求と持続可能なサプライチェーン | 医療 | サステナビリティ | 栄研化学 (eiken.co.jp)

サステナビリティファイナンス：1 つの適格事業でグリーン適格要件及びソーシャル適格要件を満たす場合、または充当される複数の適格事業においてグリーン適格要件及びソーシャル適格要件を満たす事業に関連する支出または投資の新規ファイナンスまたはリファイナンスに充当される債券・ローン

2.1 調達資金の使途

本フレームワークに基づき、調達された資金は、以下の適格要件に関連する新規投資及び既存投資のリファイナンスに充当します。

2.1.1 グリーン適格要件

(1) グリーンビルディング：

以下のいずれかの建物認証を債券またはローンによる調達から遡って過去 24 ヶ月以内に取得または、更新した建物。または、将来取得または更新予定の建物（付随する設備を含む）。

- ・ CASBEE 建築（新築）：S ランク、A ランクもしくは B+ランク
- ・ LEED-BD+C(Building Design and Construction)または LEED-O+M(Building Operations and Maintenance)認証（ともに v4 以降）：Platinum、Gold または Silver
- ・ BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)：
 - － 平成 28 年度基準：5 つ星、4 つ星または 3 つ星
 - － 令和 6 年度基準：レベル 6、5、4
- ・ DBJ Green Building 認証：5 つ星、4 つ星または 3 つ星

(2) 再生可能エネルギー：太陽光パネルの設置

2.1.2 ソーシャル適格要件

(1) 必要不可欠なサービスのアクセス（医薬品）：

- ・ 検査薬全般の製造に関する研究開発

2.2 プロジェクトの評価と選定のプロセス

本フレームワークに基づき調達される資金が充当される事業は、発行会社の経営管理統括部財務管理室が調達資金の使途にて定める適格事業への適合状況に基づいて評価・選定し、経営管理統括部財務管理室担当役員が最終決定します。

なお、事業の適格性の判断の際は、対象とする事業が環境・社会的リスク低減のために事業の所在地の自治体にて認められる環境関連法令等を遵守し、必要に応じて、環境への影響調査や周辺住民への説明会を実施していることを確認します。

2.3 調達資金の管理

本フレームワークに基づき調達した資金については、本件専用の普通預金口座を新規に開設することに加え、適格事業に全額が充当されるまで、経営管理統括部財務管理室が内部管理システムにて四半期毎に充当状況の管理を行います。

調達資金が適格事業に充当されるまでの間、または十分な適格事業がない場合の未充当資金については、現金または現金同等物にて運用し、発行から 1 年程度で充当を完了する予定です。また、調達した資金を充当した物件の売却等の理由により未充当資金が発生した場合は、他の適格要件を満たす事業に遅滞なく再充当しますが、それまでの期間については現金または現金同等物として管理します。なお、再充当に際して、グリーンファイナンスないしはソーシャルファイナンスにより調達した資金の充当は各々の適格要件を満たすように、サステナビリティファイナンスにより調達した資金の充当は、再充当後もグリーン適格要件及びソーシャル適格要件を満たすようにします。

2.4 レポーティング

2.4.1 資金充当状況レポーティング

当社グループは、適格事業に調達資金の全額が充当されるまでの間、年次にて、充当状況を当社ウェブサイトにて報告します。

以下の項目について、実務上可能な範囲でレポーティングする予定です。

- 適格事業の概要
- 適格事業別の充当額と未充当額
- 未充当額がある場合は、充当予定時期
- 新規ファイナンスとリファイナンスの割合

資金充当状況に関する初回レポートは債券またはローンによる調達から 1 年以内に行う予定です。なお、調達資金の金額が充当された後に大きな資金状況の変化が生じた場合は、適時に開示します。

2.4.2 インパクト・レポーティング

債券またはローンの残高がある限り、年次で、適格事業による環境・社会への効果を当社ウェブサイトにて報告します。

以下の項目について、実務上可能な範囲でレポーティングをする予定です。

<グリーンプロジェクト>

適格事業	レポーティング項目
グリーン ビルディング	■ 有効な環境認証の種類とランク ■ CO₂排出量 ■ エネルギー使用量 ■ 水使用量
再生可能 エネルギー	■ 発電量 (kWh) ■ CO₂排出量の削減効果

<ソーシャルプロジェクト>

適格事業	レポーティング項目
必要不可欠な サービスへの アクセス (医薬品)	■ アウトプット ・ 事業所及び購入した関連設備の概要 ・ (一般の研究開発を資金使途とする場合) 研究開発費として投じた費用 ■ アウトカム ・ 事業所で行われた研究開発の内容・成果物 ・ (一般の研究開発を資金使途とする場合) 研究開発の内容・成果物 ■ インパクト ・ 「検査の未来を創り世界の人々の健康と持続可能な社会を実現する」

以上